

産業廃棄物処理計画書 平成26年6月17日  兵庫県知事 殿  提出者 住 所 相生市相生字小丸5377-5 氏 名 ケミプロ化成株式会社 相生工場 工場長 泊 守 弘 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 (0791) 23-3869  廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規程に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ケミプロ化成株式会社 相生工場
事業場の所在地	相生市相生字小丸5377-5
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	1639 その他の有機化学工業製品製造業
② 事業の規模	製品出荷額 31億6,631万円(平成25年度実績)
③ 従業員数	60名 (平成26年4月現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（平成25年度実績）】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程内リサイクルを推進する。</li> <li>・ 資源化、燃料利用を推進する。</li> </ul>	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発生の抑制を考慮した製造方法を検討する。</li> <li>・ 再生利用ルートを確保する。</li> </ul>	
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 製造工程ごとに発生する廃棄物は、ラベルに製品名・成分・工程等を表示し、排出した廃棄物の分類に役立てている。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成25年度実績）】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t t	
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t t	
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成25年度実績）】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t	
(これまでに実施した取組) ・ 特になし。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t	
(今後実施する予定の取組) ・ 特になし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成25年度実績）】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし。	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成25年度実績）】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) ① 廃棄物の性状分析の定期実施と処理状況を記録する。 ② 処理業者と委託契約を結ぶに当たっての事前現地確認（処理状況、維持管理状況、周辺状況）と委託後の定期的な確認をする。 ③ マニフェスト伝票の管理を徹底する。	

② 計画	<b>【目標】</b>	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	別紙のとおり t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組) 同上	
※事務処理欄		

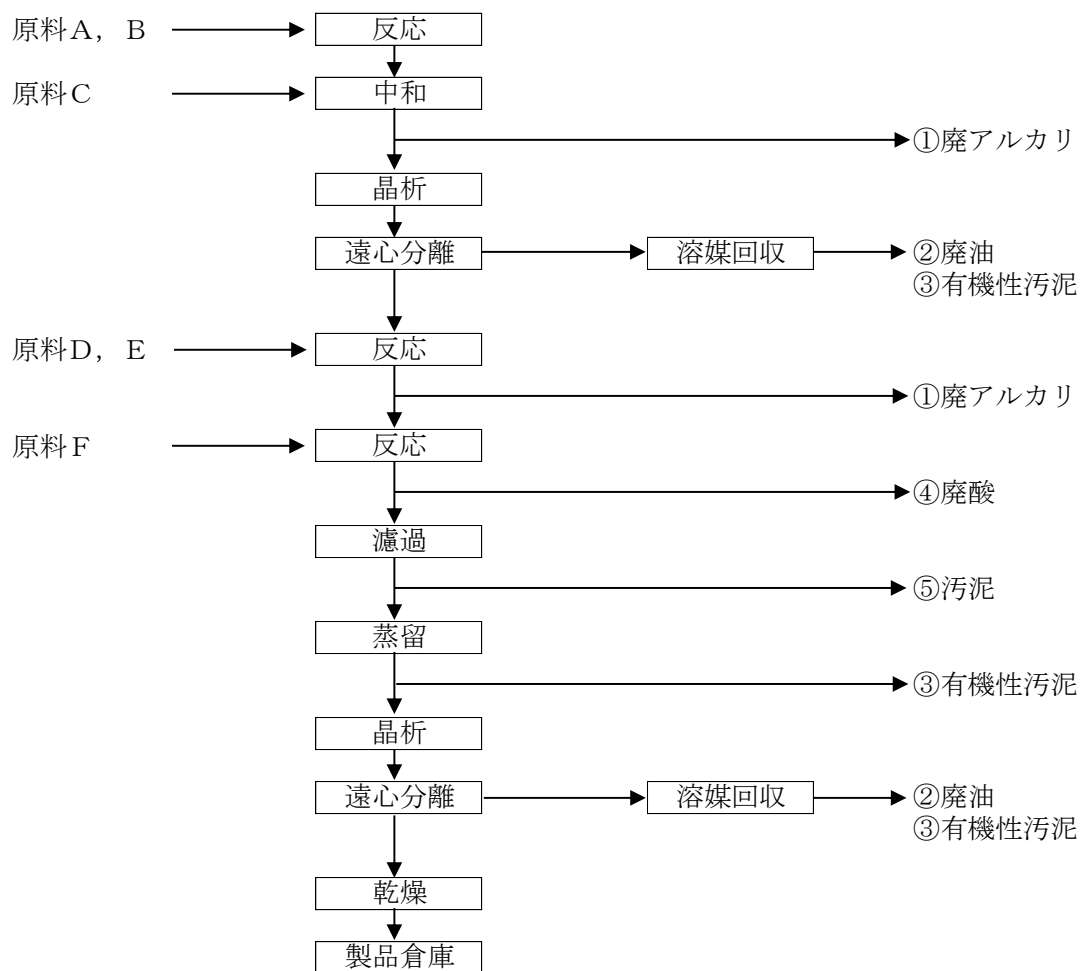
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程



① 廃アルカリ

収集運搬<委託>→焼却・混合<委託>→焼却残渣は埋立処分又はセメント原料

② 廃油

収集運搬<委託>→焼却・リサイクル<委託>→焼却残渣は埋立処分、リサイクルは燃料化又再生

③ 有機性汚泥

収集運搬<委託>→焼却<委託>焼却残渣は埋立処分

④ 廃酸

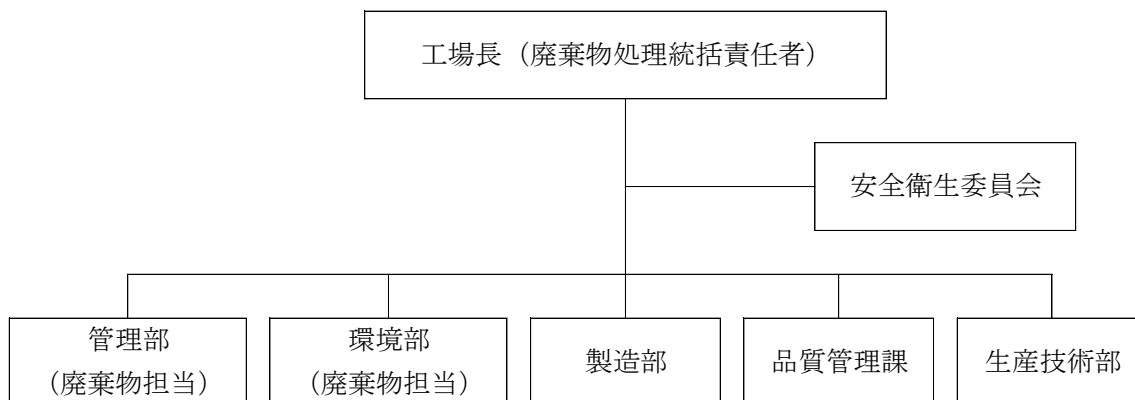
収集運搬<委託>→焼却<委託>焼却残渣は埋立処分

⑤ 汚泥

収集運搬<委託>→焼却・混合<委託>→焼却残渣は埋立処分又はセメント原料

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



(分担)

統括責任者	廃棄物処理方針の策定 廃棄物に関する諸事項の決定・承認
安全衛生委員会	廃棄物を含め、工場内の安全・衛生に関する諸事項を検討
廃棄物担当	廃棄物処理計画の作成 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 処理業者・再生処理業者の調査、剪定及び管理 委託契約の締結 産業廃棄物管理票の交付・管理 監督官庁への各種報告
各部署	部署内の発生産業廃棄物の発生量削減、分別、保管場所への運搬 部署内スタッフへの分別方法等の徹底

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	ガラスくず	金属くず	木くず	紙くず
排出量	1,071t	0t	408t	0.19t	0.0t	2.97t	29t	33t

○目標 今年度（平成26年度）

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	ガラスくず	金属くず	木くず	紙くず
排出量	900t	0t	450t	1.0t	0.1t	5.0t	30t	35t





産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	ガラスくず	金属くず	木くず	紙くず
全処理委託量	1,071t	0t	408t	0.19t	0.0t	2.97t	29t	33t
優良認定処理事業者への処理委託量	1,071t	0t	408t	0.19t	0.0t	0.0t	29t	33t
再生利用業者への処理委託量	12t	0t	52t	0.19t	0.0t	2.97t	29t	33t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0.0t	0.0t	0.0t	0t	0t
認定熱回収業者以外への処理委託量	0t	0t	0t	0.0t	0.0t	0.0t	0t	0t

○目標 今年度（平成26年度）

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	ガラスくず	金属くず	木くず	紙くず
全処理委託量	900t	0t	450t	1.0t	0.1t	5.0t	30t	35t
優良認定処理事業者への処理委託量	900t	0t	250t	1.0t	0.1t	0.0t	30t	35t
再生利用業者への処理委託量	100t	0t	50t	1.0t	0.0t	5.0t	30t	35t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0.0t	0.0t	0.0t	0t	0t
認定熱回収業者以外への処理委託量	0t	0t	0t	0.0t	0.0t	0.0t	0t	0t